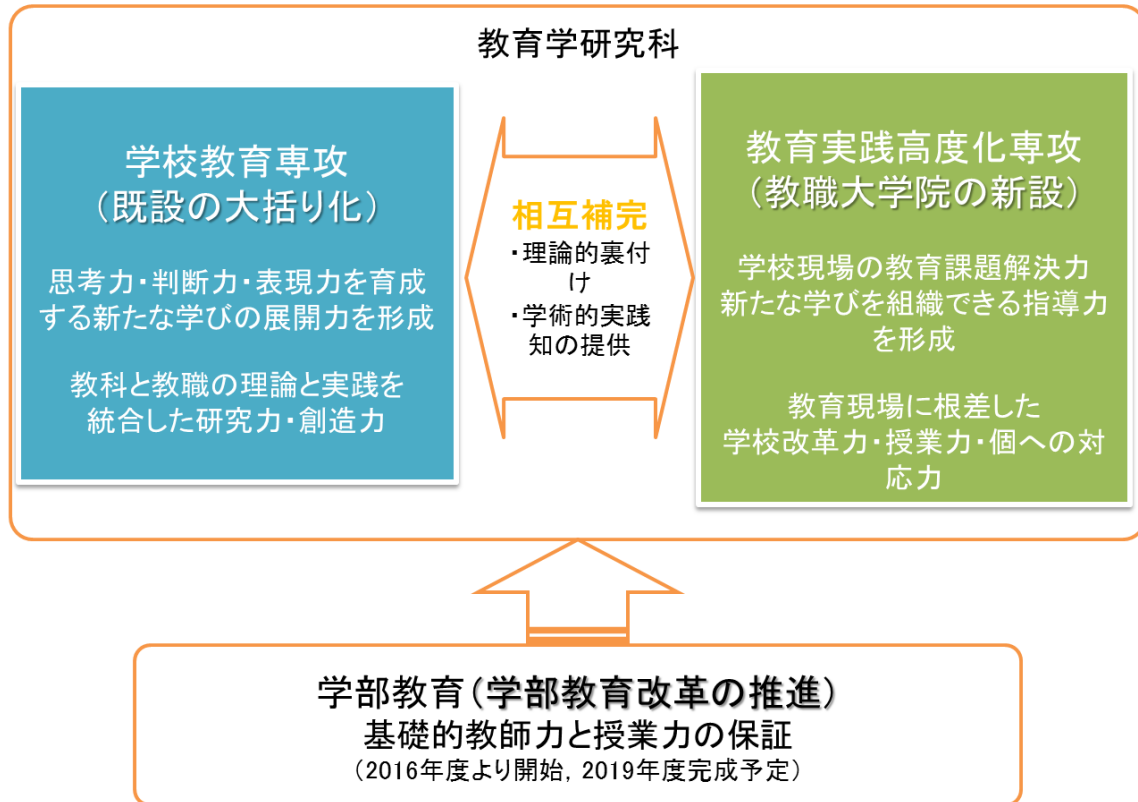


## 【資料 1 2】 専門職学位課程（教職大学院）と修士課程（改編後）の関連

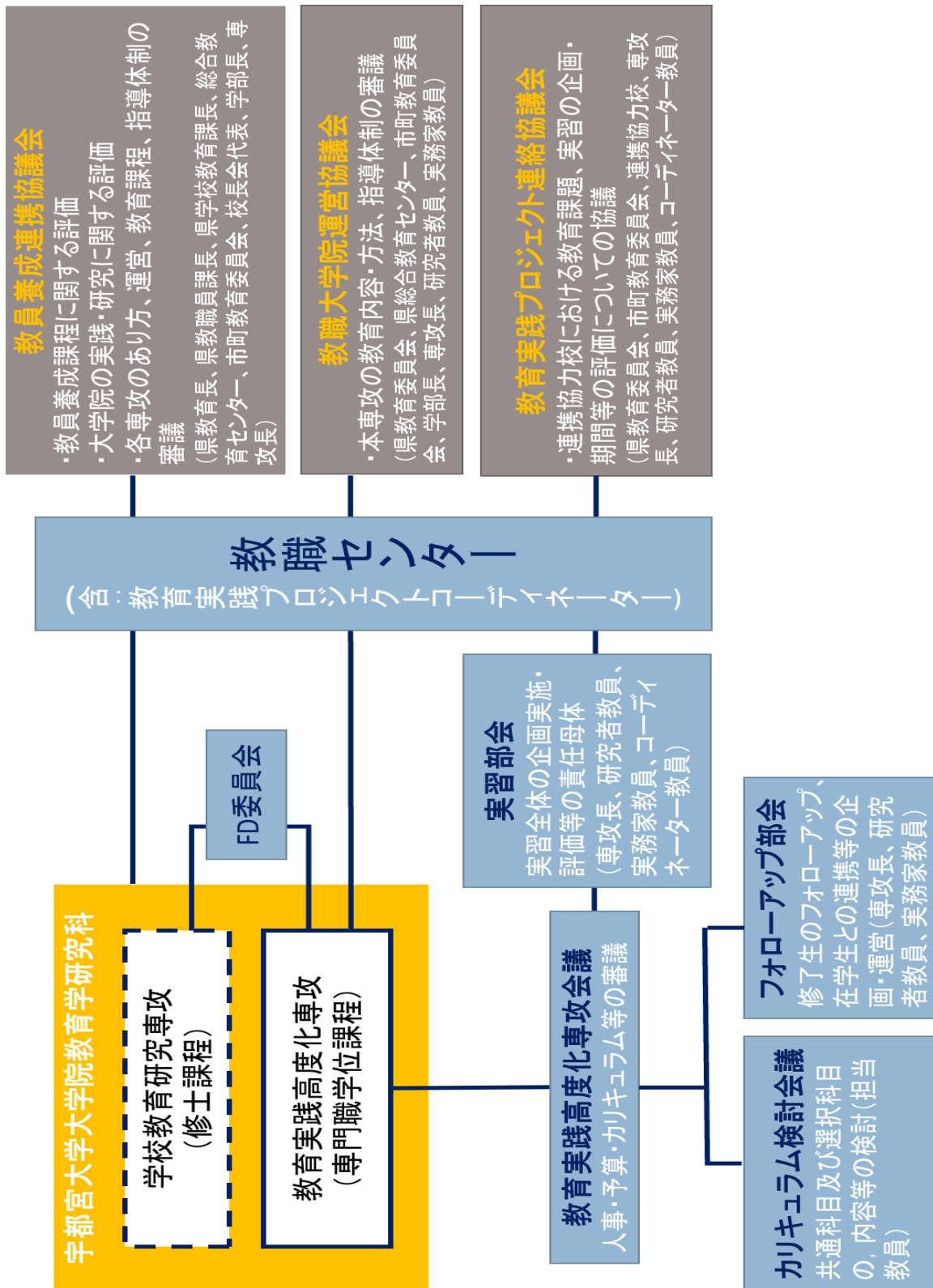
### ○学部・研究科の関係構造



### 【資料 1 3】 専門職学位課程（教職大学院）と修士課程（改編後）の比較

宇都宮大学大学院教育学研究科		
事項・区分	専門職学位課程（教職大学院）	修士課程（改編後）
理念・目的	学校現場が現に直面している問題から実践研究の課題を抽出し、理論と実践の架橋・往還・融合を通して学校現場と共に組織的に課題を解決しようとする中で、多様な人々と協働しながら対応・解決できる力量を備えた、高度な教育専門職としての初等中等教育教員を養成する。	教育関係諸課題を多面的・学際的な視点から科学的に捉え、児童生徒の指導上の諸課題に対応するための心理・発達に関する学問的・実践的知識を礎に、教科や教職についての幅広い知識、高度な専門性や理解を実際の授業に活かし、適切な授業を構成できる研究力・創造力を有する人材を養成する。
養成する人材像	現職院生は、修了後、研究主任や教務主任など学校改革の中核として働く教員や、将来地域教育界のリーダーや管理職として働く教員を育成する。学卒院生は、採用後、即戦力となるだけでなく、同僚と協働し学校改革や授業改善を牽引できる新採教員を育成する。	教科や教職に関する深い知識・理解に基づく専門性を実際の授業や生徒指導などに活用し、新たな学びを継続的に展開できる、教科や教育理論に強い高度な実践的指導力と専門的力量を有する教員。
学位	専門職学位(教職修士)	修士(教育学)
修業年限	2年	2年
修了要件教育課程	修士論文なし、学習成果報告書作成、46 単位 ・共通科目 20 単位 ・選択科目 16 単位 ・学校における実習 10 単位	修士論文、30 単位 ・専攻共通科目 10 単位 (共通基礎科目、教職実践科目) ・コース専門科目 20 単位 (基礎科目、選択科目、特別研究)
専攻・コース	1 専攻 1 コース 【教育実践高度化専攻】 現職院生は、「学校改革力」、「授業力」、「個への対応力」の3種類の履修モデルを用意する。 学卒院生は、三つの力をバランス取得できる履修モデルを用意する。	1 専攻3コース 【学校教育専攻】 ・教育科学コース ・特別支援教育コース ・教科教育コース
教育課程の特徴	①学校現場の教育活動を課題とするとともに、学校支援の機能を持つ実習科目 ②理論と実践の融合と、省察的实践家としての教員を目指すリフレクション科目 ③伸ばしたい力を向上させる現職院生のための履修モデルと、オールラウンドな実践力を向上させる学卒院生のための履修モデル ④複数の教員による共同授業方式 ⑤現職院生と学卒院生が共に育つカリキュラム ⑥県教育委員会等外部機関と連携した、FD による授業改善	①心理・発達に関する学問的・実践的科目を共通化、児童生徒の実態に即した教育実践を計画・立案 ②教科や教職の専門的・先端的な教育内容を基本としながらも、学校教育の実践に結びつく内容 ③教科と教職を架橋する科目の開設、課題解決型の実践的科目(インターンシップ)の必修化 ④教科専門教員・教職専門教員・実務家教員の協働による指導体制(少人数指導) ⑤自律性や創造性など、新たな教育的課題に挑戦的に取り組む態度を育てるカリキュラム ⑥実践的科目での研究成果を修士論文に反映させ、間接的にその成果を教育現場に還元
受験者の選択基準	現職教員及び学部新卒 現職教員 学力検査として「口述試験(教育実践概要の審査を含む)」を課す 学部新卒 学力検査として「教育実践に関する小論文」「口述試験」を課す	学部新卒及び現職教員 ・「知識、研究能力」を確認する入試(「口述試験」を含む)
両課程の関係	相互補完(資料14を参照) 理論的裏付け → ← 学術的実践知の提供	

【資料14】 管理運営組織図



# 【資料15】認証評価に関する証明書

教評価第 3 号  
平成26年5月21日

宇都宮大学長  
進村武男 殿

一般財団法人教員養成評価機構  
理事長 田村哲夫



## 宇都宮大学教職大学院の認証評価実施について

貴大学に設置予定の専門職大学院設置基準第26条に規定される教職大学院について、学校教育法第109条第3項に規定する認証評価は、貴大学からの申請に基づき当機構で実施いたします。

(本件担当)

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学内  
一般財団法人教員養成評価機構事務局

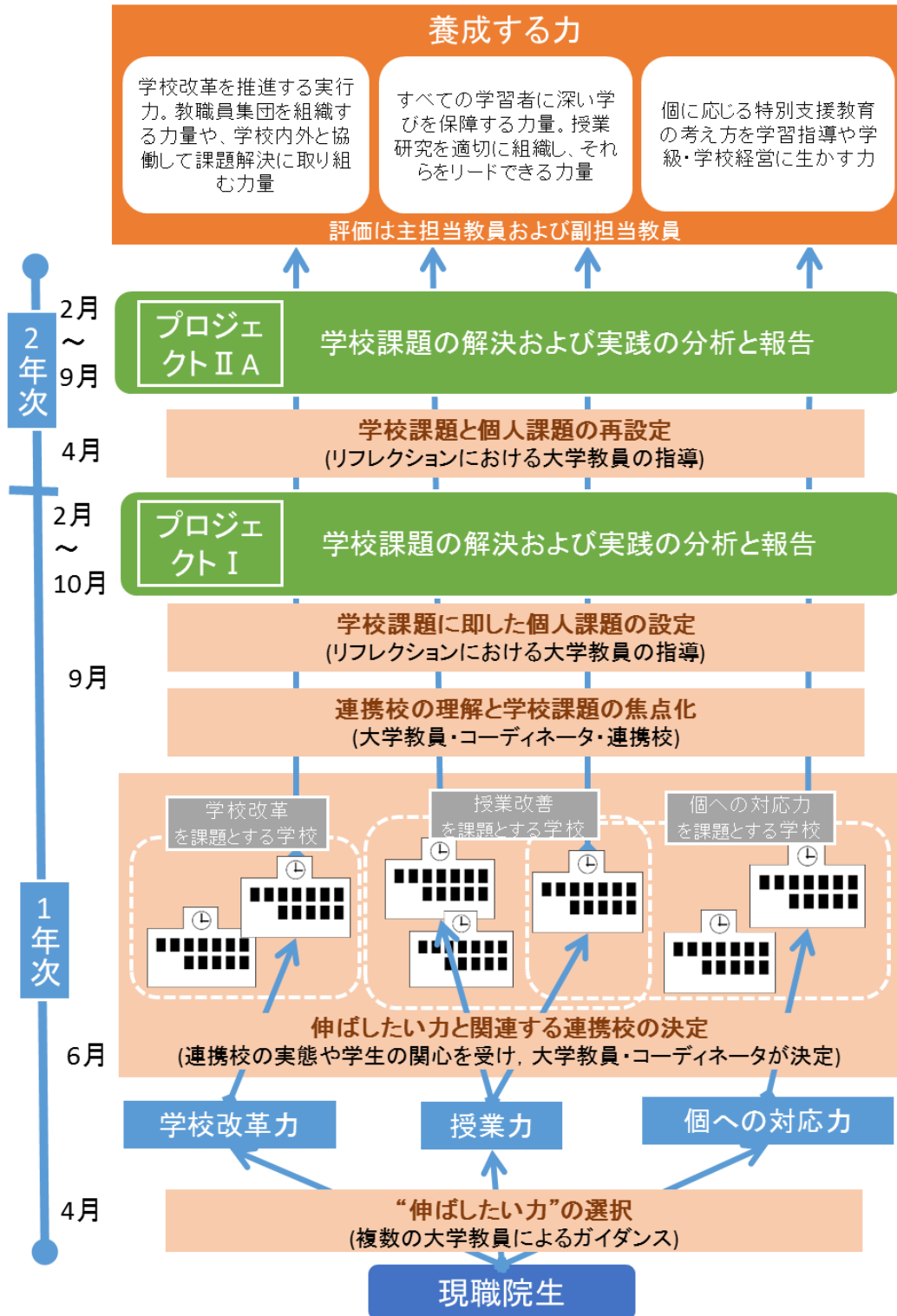
手塚・山本

Tel:042-329-7860 Fax:042-329-7889

E-mail:hyokajimu@iete.jp

【資料 1 6】自己課題と学校課題の関連と大学教員の関わり（現職院生）

現職院生の教育実践プロジェクトにおける課題解決の流れ



【資料 17】 自己課題と学校課題の関連と大学教員の関わり（学卒院生）

学卒院生の長期インターンシップおよび教育実践プロジェクト  
における課題解決の流れ

